

(公財)川崎市
国際交流協会の

講師 INSTRUCTOR 紹介

2013年度前期 「英語による 国際理解講座」

新任協会相談員
(スペイン語担当)

サバテ・ビスカラ・
モンセラトさん



スペイン出身の新任相談員が 英語でスペインの紹介をします!

はじめまして。サバテ・ビスカラ・モンセラトと申します。スペインのタラゴナ市からきました。日本語に興味を持ち、バルセロナ自治大学で英語と日本語の翻訳と通訳を勉強しました。日本には2回留学(上智大学と名古屋大学)した後、社会人として日本で就職し、4月でのべ3年半滞在しています。

これまでは主に翻訳業界で仕事をしてきましたが、今年4月から(公財)川崎国際交流協会に相談員(スペイン語担当)として入りました。日本での生活で悩みや不安なことがある時など、スペイン語ネイティブの方は是非センターに相談にいらしてください。

また、6月には、2013年度前期「英語による国際理解講座」の担当をさせていただきます。講義のテーマは、“Spain - One Country, Four Languages”(「スペインの多文化多言語社会」)です。旅行ガイドブックでよく紹介されるフラメンコ、闘牛やパエリア等ではスペインの文化はとて見せきれないので、スペイン人の私だからお話できる、スペインの多彩な姿を紹介したいと思います!

ミュージア川崎シンフォニーホール

トリニユールオープン 音楽・文化・国際交流の場が復活♪

2年間の時の流れを払拭するような、荘厳で壮大な音楽がミュージア川崎シンフォニーホールに響きわたった。待ちに待ったホールの再開に、来賓はじめ大勢の観客が戻ってきた。

大震災後、楽しみにしていたコンサートが中止になり、チケットを没にした悔しさがよぎったが、松居直美氏が演奏するパイプオルガンの力強い演奏に心奪われ、晴れやかな気持ちになった。

被害を受けたホール復元には、友好都市オーストリア・ザルツブルグからも支援をいただいた。阿部市長のあいさつのお言葉から、長期に渡る関係者のご努力・ご心労・創意工夫を察することが出来た。そして今、大きな喜びに変わった。

それは大谷康子氏のヴァイオリンと小川典子氏のピアノの演奏にも表れ、華麗で洗練された音が心にしみ込み、きらきらした宝石が降り注いでくるような、とても豊かな気分になった。客席まで下りて演奏して下さったヴァイオリニストに、観客は大喜び。澄み切った美しいピアノの演奏にも拍手が鳴りやまなかった。

フランチャイズオーケストラ・東京交響楽団によるコン



サートもそれぞれの楽器の音色が際立ち、ユベール・スダーン氏(オランダ出身・現東京交響楽団音楽監督)の指揮に強くやさしくハーモニーを奏でて観客を魅了した。

すばらしいホールの復活おめでとう!

これからまた、このホールはさまざまな音楽や文化、そして国際交流の場として、私たちが豊かにしてくれると確信した。
(取材・文:編集ボランティア 福地直子)

多文化
交差点

13
【たぶんかこうざてん】